

戦争と学校(7)

学校行事と戦争



第2次大戦同盟国



学校行事においても軍国教育の影が色濃く反映されています。一番上の集合写真には第二次世界大戦同盟国の万国旗が飾られているのがわかります。2段目左の写真は、昭和12年の国民精神総動員法制定に沿って校庭東橋に設営された遥拝所です。戦時中の国民学校では、宮城（皇居）に向けて遥が行われました。1. 朝会では東を向いて遥拝 2. 校長の合図で「弥栄」（いやさか：万歳の意）を唱え、「海行かば」合唱 3. 月一度は伊佐具神社に戦勝祈願に行く という決まりごとがありました。「海行かば」は、当時の大日本帝国政府が国民精神総動員強調週間を制定した際のテーマ曲です。太平洋戦争期、ラジオ放送の戦果発表（大本営発表）が玉砕を伝える際に、必ず冒頭曲として流されました。「海ゆかば水漬く屍 山ゆかば草むす屍 大君の邊にこそ死なぬ かえりみはせじ」。また、真珠湾攻撃成功を伝える際は勝戦においても流されました。

2段目右写真はひな祭りです。左上(黄色い枠)の黒板に書かれた式次第には、「日の丸行進曲」の斉唱が見られます。日の丸行進曲は、大阪毎日新聞、東京日日新聞が募集した懸賞歌で、1938年（昭和13年）3月10日にコード発売、国民歌として歌われました。「去年の秋よ強者（つわもの）に 召出だされて日の丸を 敵の城頭高々と 一番乗りにうち立てた 手柄はためく勝ちいくさ〜」等の歌詞にあるように、軍事色が濃いものでした、戦争に関わる学校写真には、様々な悲哀の跡がみられます。